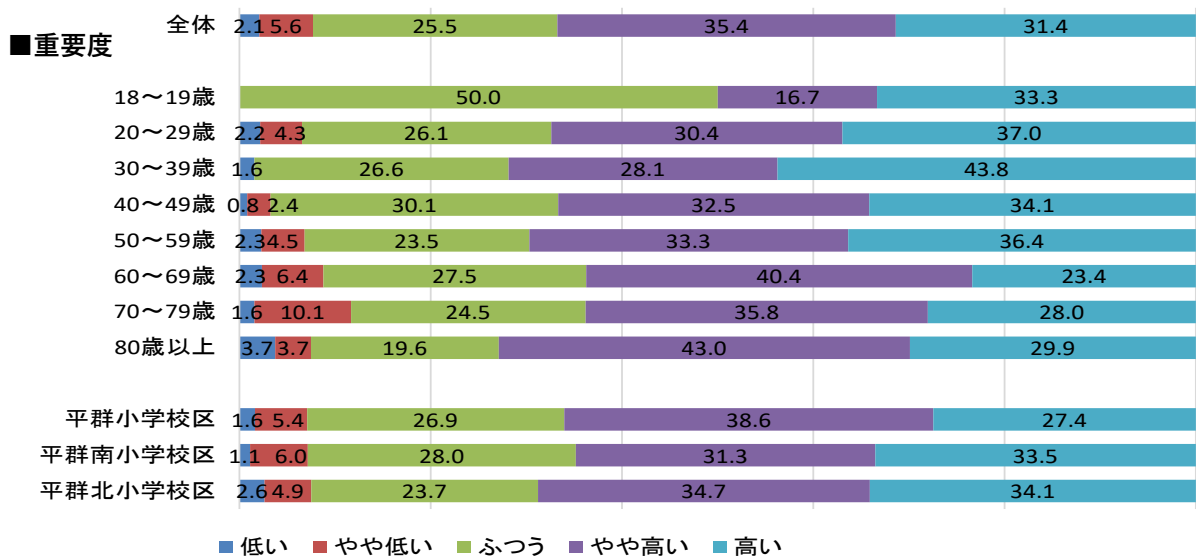
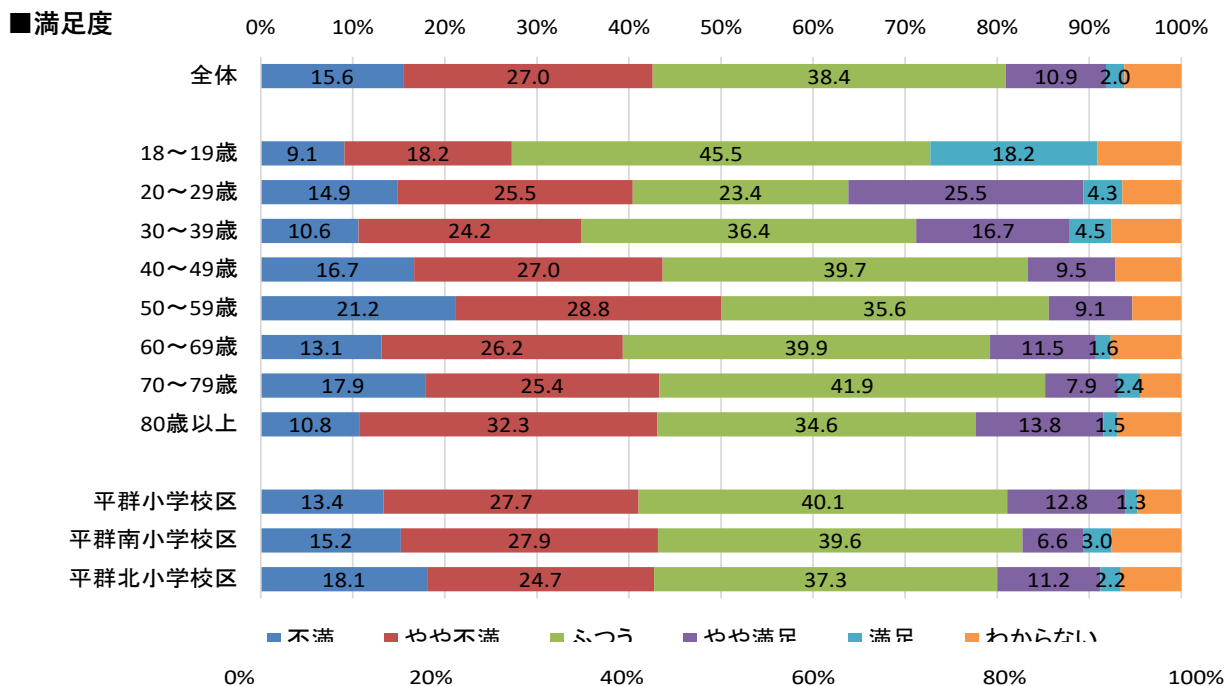


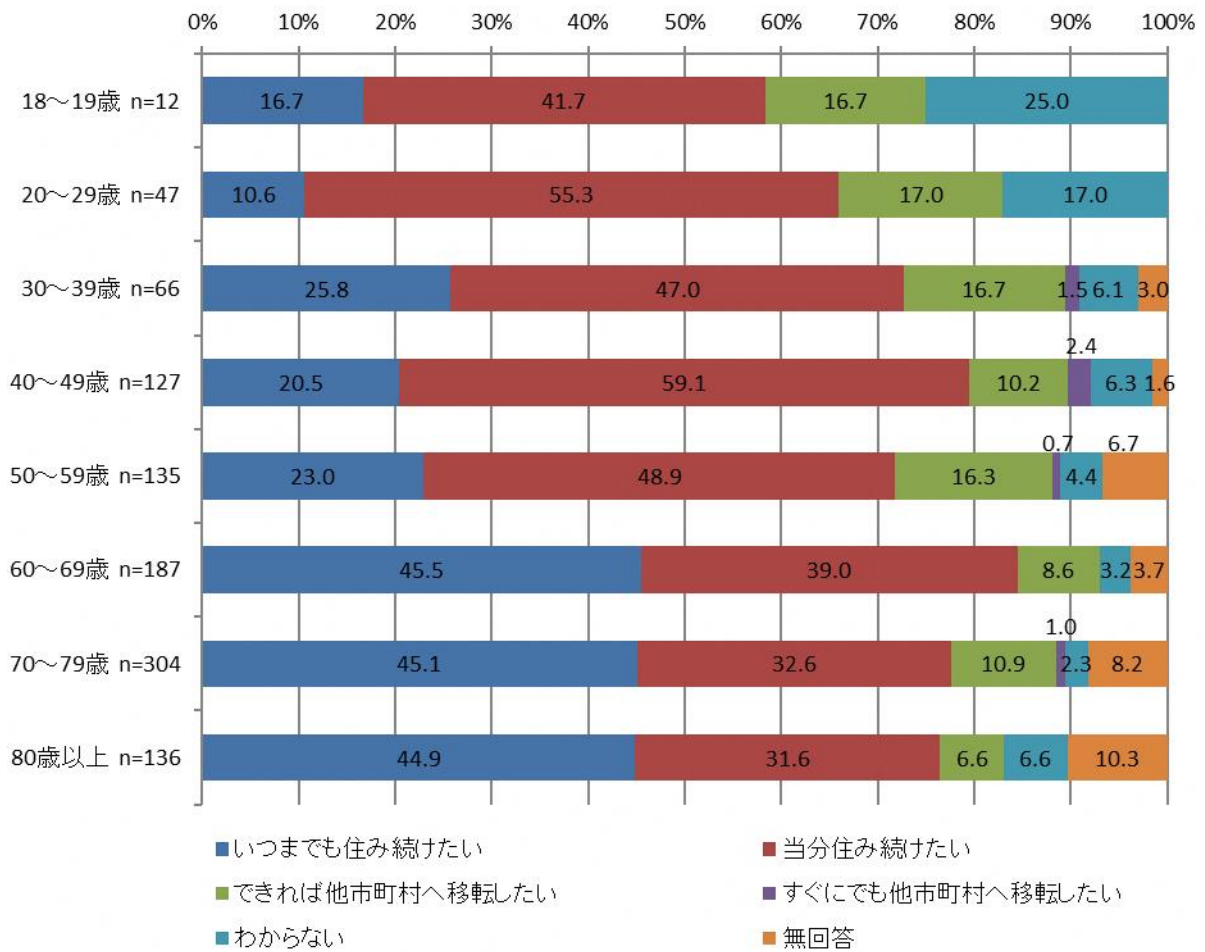
### 交通利便性についての詳細分析

- 交通、移動困難者対策の満足度については、40～59 歳において不満と回答している割合が高く、60～69 歳では不満割合が減少（満足割合が増加）しております。
- 重要度については、30～39 歳、50～59 歳において重要度が高くなっており、60～79 歳では一旦重要度が下がるものの、80 歳以上で大きく増加している。地域別では、平群北小学校区がやや重要度が高くなっている。
- 30 歳～50 歳は仕事で大阪に出る人が公共交通を利用するため、より良い充実を求めていると考えられる。
- 80 歳以上の重要度が高いところに関しては免許返納で公共交通の利用が増えることに伴い、充実が求められていると考えられます。
- 転出意向を有する回答者のなかで、交通の便が良くないと回答した割合を年代別に見ると、80 歳以上が最も高く、次いで 20～29 歳が高くなっている。
- 平群町への定住を促進するためには、子育て世帯や自分で移動することが困難となる 80 歳以上の交通弱者への対策が求められる。

### 「交通、移動困難者対策」に対する現状の評価と今後の期待（年代別、地域別）



■平群町への居住意向（年代別）



設問 2 - 1 平群町に住み続けたいと思わない理由は何ですか？ < 3 つまで○印 >

